

青年女子における出生順位と人格特性 (その1)

平沢 尚孝

(昭和58年9月30日受理)

The Relation between Birth Order and Personality Characteristics in Female Adolescents (I)

Naotaka HIRASAWA

(Received September 30, 1983)

問 題

1人っ子問題がクローズアップされていた10年以上前、出生順位と、人格特性の関係について多くの研究がなされた。それらの研究では、出生順位を独立変数とし、従属変数として、知能、適応性、親和性、問題行動などから、犯罪、アルコール中毒、神経症などまで、極めて広範な変数が扱われた。これらの研究の他に出生順位に関するデータは、あらゆるタイプの心理学的研究の中で報告されており、出生順位は、一般に高度な情動的価値をもつ変数として考えられている。

しかしながら、その研究の量の多さにもかかわらず、いまだ、明確な理論的モデルが提出されていないのが現状である。この点について、出生順位と学校関係の行動に関する研究の中で、Bradley (1968)¹⁾は次のように述べている、「一世紀にわたる出生順位に関する研究の後でも、まだ、理論的モデルをつけ加える前に、いかなる相違が生ずるのかを知る必要がある。」

一方、山本 (1977)²⁾は、これら出生順位に関する方法論的欠陥として、多くの研究が、出生順位という独立変数を利用しながら、結果の解釈において、再び「出生順位」を、その背景となる情報を表わしている指標として同義反覆的に利用するという過誤を犯している点を指摘する。そして、出生順位という先行変数と、後続変数としての人格特性の関係は、親の養育態度や同胞関係といった仲介変数とのかかわりにおいて始めて明らかにされ得るとした。

この問題に関する研究をより実りあるものとするためには、出生順位という変数を家族内力学との関係でみて

いくことが必要である。その場合、家族内で異なる出生順位を有するということが、それぞれのメンバーにどのような影響を与えているのか、あるいは、そのメンバーに対する両親の行動はどのように異なるのか、そして、そのような相違がメンバーの態度や価値観の形成にいかん寄与するのといった点について、より一層の情報が必要となろう。

一般に、子供の置かれる心理社会的な位置は、出生順位の相違によって大いに異なる。子供を生むことについての両親の態度は、その家庭で以前に生まれた子供の数に作用されながら変化する。そのことは、異なるしつけの事態での両親のふるまい方に影響する。また子供にとっては、同胞の数の関数として、社会的相互作用の型が大いに異なる。1人っ子は同胞との相互作用を経験することができない。長子は年下の同胞の数が増えていくに従い、両親との相互作用の時間を独占できなくなる。中間子は、恒常的に、1人あるいは複数の年上の同胞をもち、同時に年下の同胞が増える。末っ子にとっては、恒常的に、1人あるいは複数の年上の同胞が存在する。

この点については、前述山本の指摘するとうり、家族内の心理社会的な位置を考慮すれば、「第1子 (first-borns) と1人っ子 (only children), そして第2子以下 (later-borns) のグループの2つに分けるという一般的な傾向は再考を必要とする」。

さらに、家族内の心理社会的な位置は、同胞を構成する性別によっても大いに異なる。たとえば、女子を含む2人の同胞という場合だけを考えても、兄をもつ妹、弟をもつ姉、妹をもつ姉、姉をもつ妹の4者の心理社会的な経験は同胞との関係により、また両親との関係によってそれぞれ異なるものとなろう。特に、両親が養育にあた

って何を期待し、何を重視してきたかという、両親の価値観の与える影響は大きく、それはまた、子供の出生順位と相互に作用しあうことにもなる。

そこで、本研究では、出生順位という変数が、家族内力学との相互的關係を通じ、人格形成、人格特性にどのように影響するかを明らかにすることを目的とし、次の2点を前提にするものとする。

① 出生順位の変数については、第1子、1人っ子対第2子以下という2分法をさけ、かつ、出生順位と性別を組み合わせたカテゴリーを考えるものとする。

② 家族内力学要因として、両親の養育にあたっての価値観の尺度を用いるものとする。

方法

1) 出生順位のカテゴリーについては、山本にない、2人きょうだいまでは出生順位と性別を組み合わせる。ただし、本研究では被験者を女子とするもののうち、2人きょうだいまでを、1人っ子(S)、兄をもつ妹(MS)、弟をもつ姉(SM)、妹をもつ姉(SF)、姉をもつ妹(FS)の5カテゴリーに分ける。3人きょうだいの場合、サンプル数の制約を考慮し、長子(OS)、中間子(IS)、末っ子(YS)の3カテゴリーとし、計8カテゴリーとその他(4人きょうだい以上)の予備カテゴリーを用意する。

2) 家族内力学要因として、両親の養育にあたっての価値観の尺度を設けるが、ここでは、橋口とその共同研究者ら(1981)³⁾の価値観調査表を用いる。橋口らは、数年来、主として人間尊重という観点から、明治以降の小学校教科書の内容を分析行ってきた。

その研究の目的は、「学校教育の中核をなす教科書が、それを実際に学んだ人々の人格形成にいかなる影響を及ぼすか」を実証的に明らかにすることにあったが、その一環として、国定教科書のもつ価値観に、現在の学習指導要領の価値観を盛り込んだ価値観調査表を作成した。

本調査でも、その価値観調査表を用いることが許されたが、その項目は次のとおりである。

1. 勉強に励む、2. 仕事に励む、3. 競争に勝つ、4. 創意工夫する、5. 自分のことを自分でする、6. ものを大切にする、7. むだ使いをしない、8. 勇気がある、9. 体をきたえる、10. 健康安全に気をつける、11. のびのびしている、12. 自信をもって行動する、13. 忍耐強い、14. 謙虚である、15. 視律正しい、16. 正直である、17. 志をたてる、18. 迷信にまどわされな

い、19. 自分を大切にする、20. やる気がある、21. 誠実である、22. 意志が強く努力する、23. 教養が豊かである、24. スポーツを愛する、25. 芸術を愛する、26. 明るく、ユーモアがある、27. 親切である、28. ひろく人や生き物を愛する、29. 思いやりがある、30. 責任感が強い、31. 義理人情にあつい、32. 礼儀正しい、33. 社会(公共)のためにつくす、34. 協調性がある、35. 規則正しい、36. 正義感が強い、37. 約束を守る、38. 寛容である、39. 友人を大切にする、40. お年寄りを大切にする、41. 親に孝行する、42. 先生を尊敬する、43. 目上を大切にする、44. 祖先を敬う、45. だれに対しても公正公平にふるまう、46. 近所づきあいをする、47. 権利を主張する、48. 世界平和に貢献する、49. 義務を果たす、50. 恩に報いる、51. 兄弟仲良くする、52. 出世する、53. 指導力がある、54. 天皇を敬う、55. 国を愛する、56. 憲法を守る、57. 国際的視野をもつ。

以上57項目について、被験者には、「あなたが生きていく上でどの程度重要だと思いますか」という質問に5段階(非常に重要である—まったく重要でない)で評定を求める。また、被験者の両親には、同様の項目について、「お子さんを育てる上でどの程度重要していましたか。(いますか。)」という質問にやはり5段階(非常に重視—まったく重視しない)で評定を求める。

3) 被験者の性格特性の尺度として、YG性格検査(矢田部・ギルフォード性格検査)を施行する。YG性格検査を用いたのは、現在、最も一般的に利用されているため、他との比較が容易であるという理由からである。

調査

調査資料は、東京都内の大学、短大の1、2、3年生合計504名とその両親から集められた。学生については大学内で、YG性格検査と価値観調査を同時に行い、両親については学生を介して、家庭で実施してもらい郵送で回収した。全体の回収率はかなり高かったが、そのうち、被験者の学生と両親の回答がすべてそろったものの回収率は次のとおりである。

K短大	1年	120名中	48名(40.0%)
TK短大	2年	170名中	82名(48.2%)
TK大	1年	114名中	47名(41.2%)
TK大	3年	100名中	34名(34.0%)
合計		504名中	211名(41.9%)

このうち、4人きょうだいの被験者5名を除いて、最

青年女子における出生順位と人格特性（その1）

最終的に 206 名の資料を分析の対象とした。調査の実施はすべて、昭和56年 6 月～9 月の間に行われた。

分析手続

1) YG 性格検査

①検査結果のプロファイルを判定し、5 類型に分類してその比率を求める。

②12の性格特徴の平均スコアとその標準偏差を求め、平均値の差の検定（t 検定）を行う。

2) 価値観調査

①被験者、母親、父親について、57の各項目に、「非常に重視」と回答したものの比率を求める。

②「非常に重視」と回答したものの比率が高いのはいかなる項目かを知るためにその高位のものについて順位表を作成する。

③順位表に基づいて、被験者と両親の価値観の相違の傾向を抽出する。

結果

1) YG 性格検査

①出生順位による性格類型とその比率は表 1 に示されている。ただし、A～E 各類型の標準的特徴は次のとおりである。

A 類：平均型で、日本人として平均的な性格特性をもつタイプ。

B 類：不安定積極型で、情緒不安定、社会的不適応、外向的な傾向を有し、パーソナリティの不均衡が外に現われやすいタイプ。

C 類：安定消極型で、おとなしく消極的に安定している内面的なタイプ。

D 類：安定適応積極型で、情緒的に安定し、社会的適応力もあり、活動的、外向的タイプ。

E 類：不安定不適応消極型で、情緒不安定、社会的不適応、内向的な傾向を有し、内面的な葛藤を生じやすいタイプ。

表 1 でみると、1 人っ子（S）は各類型に分散しているが、相対的にみればやや A 類が多い。2 人きょうだいには D 類が多いが、その傾向は兄又は弟を含む場合（MS, SM）により顕著である。3 人きょうだいには、B 類が多く、B 類と E 類を合計すると、中間子と末っ子（IS, YS）はいずれも 60% を越える。これは、MS における B 類と E 類の合計 20% と比較すると顕著である。

②出生順位による 12 の性格特徴の平均スコアおよび標準偏差は表 2 に、t 検定の結果は表 3 に示されている。

表 3 から性格特徴別に比較すると次のような傾向がみられる。

表 1 YG 性格検査結果

出生順位と性格類型

出生順位 性格類型		1. S	2. M・S	3. S・M	4. S・F	5. F・S	6. O・S	7. I・S	8. Y・S
		(26名)	(35名)	(30名)	(36名)	(18名)	(18名)	(22名)	(21名)
A 類	人数	7	6	5	9	4	4	5	4
	%	27	17	17	25	22	22	23	19
B 類	人数	5	5	7	9	3	8	10	11
	%	19	14	23	25	17	44	45	52
C 類	人数	3	4	3	4	2	0	0	1
	%	12	11	10	11	11	0	0	5
D 類	人数	7	18	12	11	6	5	3	3
	%	27	51	40	31	33	28	14	14
E 類	人数	4	2	3	3	3	1	4	2
	%	15	6	10	8	17	6	18	10

表2 YG 性格検査結果

出生順位と性格特徴のスコア

\bar{x} : 平均 σ : 標準偏差

性 格 特 徴		出 生 順 位							
		1. S・ (26名)	2. M・S (35名)	3. S・M (30名)	4. S・F (36名)	5. F・S (18名)	6. O・S (18名)	7. I・S (22名)	8. Y・S (21名)
D 抑うつ性	\bar{x}	10.50	8.34	9.70	9.19	9.06	9.83	13.41	12.67
	σ	5.87	5.06	5.69	5.39	5.42	4.94	5.14	4.26
C 回帰性傾向	\bar{x}	11.08	8.03	10.00	10.11	10.17	11.72	12.18	12.48
	σ	5.10	4.64	4.58	5.18	4.71	4.71	4.75	4.07
I 劣等感の強いこと	\bar{x}	9.58	8.91	8.67	7.89	7.78	9.44	12.68	10.62
	σ	4.94	4.77	4.55	4.65	5.49	4.49	4.03	4.38
N 神 経 質	\bar{x}	10.46	7.43	7.40	8.97	9.33	9.22	12.09	11.19
	σ	4.77	4.13	4.68	3.73	5.51	3.99	3.48	5.04
O 客観的でないこと	\bar{x}	9.35	7.67	8.73	9.28	7.61	8.89	9.09	10.90
	σ	4.66	3.08	3.79	3.52	4.23	4.23	3.46	3.21
Co 協調的でないこと	\bar{x}	7.92	6.43	5.90	6.31	6.61	7.83	8.59	7.90
	σ	4.17	2.62	3.87	3.34	4.06	4.17	3.70	2.99
Ag 愛想の悪いこと	\bar{x}	10.81	10.43	11.37	9.94	11.67	12.17	9.95	11.52
	σ	4.09	4.5	4.48	3.97	3.99	3.76	4.60	3.35
G 一般的活動性	\bar{x}	11.50	12.54	12.13	11.47	12.00	13.50	9.14	11.10
	σ	4.07	4.08	4.42	4.53	5.03	3.61	3.37	4.58
R のんきさ	\bar{x}	11.54	11.91	12.90	10.67	12.17	13.39	11.72	13.29
	σ	4.64	3.74	4.27	4.70	4.06	4.15	5.25	4.91
T 思考的外向	\bar{x}	10.38	10.37	10.87	10.08	10.06	10.50	8.36	9.43
	σ	4.63	4.17	4.13	3.51	4.82	4.27	4.58	3.23
A 支 配 性	\bar{x}	9.62	10.34	12.37	10.61	9.78	13.06	9.18	9.81
	σ	4.45	4.44	4.49	4.54	5.40	3.99	5.03	4.58
S 社会的外向	\bar{x}	13.65	14.49	14.50	13.61	13.94	14.94	13.09	14.62
	σ	4.06	4.08	4.02	4.45	4.05	3.44	5.11	4.75

表3 YG 性格検査結果
 出生順位カテゴリー間の性格特徴スコアの検定結果（1～8の数字は出生順位カテゴリーS～Y・Sを表わす）

性格特徴	t 検定 (* 5%以下で有意 ** 2.5%以下で有意 * 1%以下で有意 ** 0.5%以下で有意)																											
	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	1-8	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	2-8	3-4	3-5	3-6	3-7	3-8	4-5	4-6	4-7	4-8	5-6	5-7	5-8	6-7	6-8	7-8
D 抑うつ性												**	**				**	*			**	**		**	*	*		
C 回帰性傾向	**									**	**	**																
I 劣等感の強いこと						**					**	**					**				**	*		**	*	*		
N 神経質	**	**									**	**	*				**	*			**						*	
O 客観的でないこと												**	**					*							**			
Co 協調的でないこと											**						**				*							
Ag 愛想の悪いこと																												
G 一般的活動性						*					**	**					**				*				**	**		
R のんきさ																				*								
T 思考的外向																												
A 支配性		*			**					*							*									**	*	
S 社会的外向																												

- ・抑うつ性

IS>MS, SM, SF, FS, OS

YS>MS, SM, SF, FS

- ・回帰性傾向（気分の変化）

S, OS, IS, YS>MS

- ・劣等感

IS>S, MS, SM, SF, FS, OS

YS>SF, FS

- ・神経質傾向

IS>MS, SM, SF, OS

S, YS>MS, SM

- ・客観でないこと（主観的）

YS>MS, SM, FS

- ・協調的でないこと（非協調的）

IS>MS, SM, SF

- ・愛想の悪いこと（攻撃性）

有意差なし

- ・一般活動性

S, MS, SM, SF, OS>IS

- ・のんきさ

OS>SF

- ・思考的外向

有意差なし

- ・支配性

OS>S, MS, IS, YS

SM>S, IS

- ・社会的外向

有意差なし

2) 価値観調査表

調査表の57項目について、「非常に重視する」と回答したものの比率は表4に示される。表4から、「非常に重視する」比率の高いものにつき、本人、母親、父親別に、出生順位の各カテゴリー毎の順位表をつくると表5のようになる。

表5を一覧して気づくことは、出生順位のカテゴリー毎に、「非常に重視する」比率が大きく異なることである。たとえば、SMの母親では、第1位の「正直である」という項目を非常に重視するものが48%であるのに対し、SFの母親では第10位の「お年寄りを大切にする」まですべて50%をはるかに越えている。これは、SMの母親に比して、SFの母親の被験者本人に対する関心度が特に強いことを意味すると考えてよいだろう。このように、

「非常に重視」の比率の高さが関心度の指標になると考えれば、被験者本人の各項目の比率が、一般的に、母親、父親の双方に比して極めて高いのは、本人の自己関心度の強さを表わすものとして理解できる。

そこで今、本人については55%以上、母親、父親については45%以上が「非常に重視する」と回答した項目数を数えると表6のようになるが、この表6から次のような傾向がわかる。

本人の自己関心度では、FSが極めて高く、YSがそれにつき、SM, SFが相対的に低い。

母親の関心度は、SFについて極めて高く、IS, MS, FSの順でつき、S, OSについては低い。

父親の関心度は、SFについて極めて高く、S, OS, FSとつき、MS, SMについては低い。

父母の関心度の相対的比較からいえば、MS, ISについて母親、S, OSについて父親の関心度が高いと考えられる。また、SM, YSについては両親の総合的関心度は低い。

表5で、本人、母親、父親がそれぞれ特に重視する2位までの上位項目についてみてみよう。

本人については、S, OS以外のすべての場合「健康安全に気をつける」、「自分の事を自分でする」が共に2位以内に入るのに対し、Sの場合両方が、OSの場合一方がはずれ、かわりに、いずれの場合も「思いやりがある」が2位以内に入っている。そして、S, OS以外では、いずれの場合も「思いやりがある」は2位以内に入っていない。

母親の第2位までの項目で本人と一致するものについてみると、MS, FSの場合、「健康安全に気をつける」、「自分の事を自分でする」が共に一致し、SF, ISの場合「健康安全に気をつける」が、一致する。

父親についてみると、MS, FSの場合、同じく「健康安全に気をつける」、「自分の事を自分でする」が共に一致し、SFとは「自分の事を自分でする」で、OSとは「健康安全に気をつける」で、そしてYSとは「意志が強く努力する」でそれぞれ一致する。ただし、この「意志が強く努力する」は他のいずれの場合も2位以内に入らない。

考 察

1) YG性格検査の各性格特徴のスコアの比較結果から、出生順位カテゴリーによる傾向を抽出してみると次

表4の1 価値観調査表の結果

非常に重視するものの比率

単位：%

	本人の現在の価値観								母親の養育の価値観								父親の養育の価値観							
	S	MS	SM	SF	FS	OS	IS	YS	S	MS	SM	SF	FS	OS	IS	YS	S	MS	SM	SF	FS	OS	IS	YS
1. 勉強に励む	24.1	3.8	10.8	6.3	20.0	0	10.0	21.1	22.4	19.2	40.5	29.0	45.0	23.8	31.6	31.6	17.9	19.2	43.2	29.0	35.0	28.6	25.0	22.3
2. 仕事に励む	31.0	30.8	21.6	31.3	20.0	19.0	30.0	15.8	17.9	3.8	30.0	23.3	30.0	23.8	26.3	26.3	14.3	7.7	22.2	30.0	35.0	52.4	21.1	27.8
3. 競争に勝つ	3.4	0	8.1	0	10.0	4.8	0	5.3	14.3	0	5.4	9.7	10.0	9.5	15.8	5.3	14.3	11.5	8.1	12.9	10.0	19.0	15.8	11.1
4. 創意工夫する	13.8	7.7	18.9	18.8	30.0	28.6	30.0	36.8	17.9	7.7	21.6	19.4	25.0	14.3	21.1	5.3	18.5	19.2	27.0	12.9	25.0	28.6	21.1	5.6
5. 自分の事を自分でする	55.2	65.4	77.4	67.6	75.0	66.7	10.0	73.7	39.3	53.8	35.1	58.1	55.0	47.6	31.6	31.6	50.0	42.3	36.1	58.1	55.6	33.3	36.8	27.8
6. ものを大切にす	44.8	53.8	43.2	43.8	70.0	47.6	40.0	57.9	50.0	46.2	43.2	54.8	40.0	40.0	31.6	36.8	39.3	30.8	29.7	48.4	40.0	33.3	36.8	27.8
7. むだ使いをしない	17.2	30.8	35.1	25.0	40.0	33.3	25.0	36.8	32.1	34.6	24.3	38.7	20.0	33.3	31.6	31.6	46.4	15.4	21.6	48.4	20.0	23.8	26.3	11.1
8. 勇気がある	13.8	30.8	29.7	31.3	30.0	33.3	15.0	63.2	14.3	23.1	21.6	38.7	25.0	19.0	31.6	21.1	14.3	19.2	13.5	32.3	15.8	28.6	21.1	11.1
9. 体をきたえる	44.8	42.3	40.5	59.4	55.0	47.6	60.0	63.2	25.0	42.3	38.9	45.2	52.6	33.3	31.6	36.8	46.4	30.8	29.7	32.3	45.0	23.8	31.6	33.3
10. 健康・安全に気をつける	62.1	73.1	64.9	81.3	80.0	76.2	75.0	78.9	57.1	53.8	43.2	64.5	52.6	33.3	84.2	36.8	60.7	38.5	32.4	48.4	50.0	57.1	42.1	38.9
11. のびのびしている	27.6	42.3	29.7	28.1	60.0	38.1	40.0	42.1	25.3	34.6	30.6	51.6	35.0	33.3	36.8	26.3	25.0	23.1	37.8	45.2	35.0	42.9	31.6	22.2
12. 自信をもって行動する	27.6	30.8	40.5	34.4	50.0	52.4	10.0	57.9	32.1	46.2	27.8	48.4	25.0	28.6	42.1	26.3	25.0	23.1	37.8	35.5	35.0	47.6	36.8	44.9
13. 忍耐強い	37.9	46.2	37.8	50.0	55.0	38.1	30.0	57.9	21.4	42.3	27.0	51.6	35.0	28.6	47.4	31.6	25.0	11.5	21.6	45.2	20.0	30.0	26.3	38.9
14. 謙虚である	20.7	11.5	13.5	18.8	35.0	33.0	30.0	36.8	14.3	23.1	16.2	35.5	35.0	19.0	44.4	15.8	21.4	11.5	16.2	29.0	21.1	23.8	26.3	27.8
15. 規律正しい	25.0	38.5	24.3	34.4	25.0	38.1	10.0	42.1	32.1	46.2	40.5	38.7	45.0	23.8	31.6	26.3	32.1	11.5	40.5	41.9	26.3	28.6	21.1	33.3
16. 正直である	55.2	50.0	48.6	34.4	55.0	57.1	50.0	52.6	42.9	50.0	48.6	67.7	40.0	42.9	47.4	47.4	57.1	34.6	48.6	48.4	45.0	42.9	52.6	38.9
17. 志をたてる	24.1	19.2	21.6	18.8	25.0	14.3	15.0	26.3	7.1	11.5	13.5	29.0	40.0	9.5	26.8	11.8	28.6	23.1	13.9	19.4	21.1	23.8	31.6	27.8
18. 迷信にまどわされない	7.1	7.7	8.1	6.3	5.0	14.3	5.0	5.3	3.7	4.0	8.6	22.6	15.0	4.8	15.8	0	10.7	15.4	13.5	19.4	5.0	9.5	21.1	11.1
19. 自分を大切にす	34.5	38.5	32.4	18.8	50.0	42.9	35.0	42.1	21.4	30.8	25.0	48.4	45.0	28.6	36.8	36.8	35.7	30.8	21.6	41.9	26.3	33.3	36.8	27.8
20. やる気がある	51.7	65.4	37.8	53.1	60.0	57.1	30.0	57.9	35.7	50.0	35.1	58.1	35.0	33.3	36.8	33.3	35.7	30.8	37.8	41.9	35.0	47.6	31.6	33.3
21. 誠実である	51.7	61.5	45.9	43.8	60.0	42.9	55.0	42.1	21.4	36.0	32.4	45.2	35.0	33.3	42.1	47.4	35.7	38.5	37.8	58.1	40.0	38.1	26.3	27.8
22. 意志が強く努力する	41.4	57.7	43.2	50.0	50.0	47.6	47.4	73.7	32.1	34.6	5.2	58.1	30.0	19.0	47.4	33.3	28.6	30.8	32.4	48.4	40.0	33.3	36.8	55.6
23. 教養が豊かである	20.7	23.1	21.6	12.9	45.0	23.8	20.0	47.4	25.9	21.9	27.0	38.7	30.0	23.6	31.6	11.1	17.9	11.5	24.3	29.0	15.0	38.1	42.1	22.2
24. スポーツを愛する	17.2	34.6	13.5	15.6	25.0	28.6	20.0	36.8	25.0	15.4	16.2	25.8	25.0	19.0	26.3	21.1	21.4	0	10.8	32.3	15.0	23.8	15.8	23.5
25. 芸術を愛する	24.1	19.2	27.0	27.0	35.0	33.3	10.0	31.6	7.1	7.7	13.5	29.0	20.0	14.3	31.6	10.5	10.7	7.7	13.5	16.1	15.0	14.3	10.5	11.1
26. 明るくユーモアがある	27.6	38.5	29.7	25.0	60.0	42.9	25.0	36.8	21.4	23.1	32.4	41.9	10.0	9.5	31.6	15.8	32.1	15.4	18.9	36.7	15.0	19.0	26.3	5.6
27. 親切である	44.8	42.3	45.9	40.6	55.0	61.9	35.0	36.8	28.6	30.8	45.9	58.1	47.4	19.0	42.1	21.1	35.7	16.0	37.8	48.4	25.0	38.1	21.1	16.7
28. ひろく人や生き物を愛する	48.3	50.0	43.2	31.3	55.0	38.1	40.0	38.9	25.0	30.8	27.0	48.4	40.0	19.0	42.1	15.8	25.0	11.5	29.7	41.9	20.0	23.8	21.1	16.7

青年女子における出生順位と人格特性 (その1)

表4の2 価値観調査表の結果

非常に重視するものの比率

単位：%

	本人の現在の価値観									母親の養育の価値観								父親の養育の価値観							
	S	MS	SM	SF	FS	OS	IS	YS		S	MS	SM	SF	FS	OS	IS	YS		S	MS	SM	SF	FS	OS	IS
29. 思いやりがある	72.4	61.5	59.5	43.8	65.7	71.4	55.0	47.4	35.7	34.6	45.9	51.6	35.0	19.0	36.8	33.3	28.6	23.1	37.8	41.9	30.0	38.1	31.6	33.6	
30. 責任感が強い	51.7	53.8	51.4	50.0	65.0	57.1	36.8	47.4	33.3	30.8	43.2	61.3	35.0	42.9	47.4	47.4	50.0	34.6	37.8	45.2	40.0	47.6	31.6	33.3	
31. 義理人情にあつい	13.8	15.4	18.9	9.4	15.0	9.5	5.0	26.3	21.4	30.8	11.1	35.5	30.0	14.3	36.8	10.5	28.6	15.4	16.2	25.8	10.0	42.9	21.1	22.0	
32. 礼儀正しい	44.8	30.8	32.4	34.4	50.0	52.4	15.0	47.4	28.6	26.9	35.1	51.6	30.0	33.3	36.8	21.1	39.3	34.6	37.8	45.2	25.0	33.3	36.8	27.8	
33. 社会のためにつくす	10.3	0	16.2	3.1	20.0	4.8	0	15.8	10.7	19.2	10.8	25.8	10.0	14.3	26.3	10.5	14.3	7.7	21.6	25.8	10.0	19.0	21.1	11.1	
34. 協調性がある	24.1	26.9	21.6	34.4	42.1	38.1	15.0	21.1	25.0	16.0	13.5	29.0	15.0	19.0	36.8	21.1	25.0	15.4	18.9	23.3	25.0	14.3	21.1	33.3	
35. 規則正しい	20.7	15.4	16.2	18.8	25.0	33.3	20.0	21.1	25.0	19.2	29.7	29.0	42.1	9.5	36.8	21.1	32.1	15.4	37.8	29.0	10.0	23.8	21.1	22.2	
36. 正義感が強い	27.6	15.4	16.2	21.9	15.0	19.0	26.3	21.3	28.6	19.2	21.6	38.7	15.0	19.0	36.8	36.8	28.6	12.0	27.0	33.3	5.0	33.3	21.1	27.5	
37. 約束を守る	72.4	57.7	62.2	56.3	55.0	61.9	50.0	57.9	44.9	42.3	45.9	64.5	42.1	52.4	36.8	42.1	50.0	19.2	43.2	51.6	50.0	52.4	36.8	44.4	
38. 寛容である	17.2	15.4	29.7	21.9	25.0	33.3	11.5	36.8	17.9	11.5	16.2	35.5	15.0	14.3	36.8	27.8	25.0	15.4	13.5	32.3	15.0	19.0	26.3	22.2	
39. 友人を大切にす	58.6	57.7	62.2	59.4	75.0	57.1	55.0	68.4	28.6	38.5	43.2	48.4	35.0	28.6	47.4	26.3	32.1	23.1	29.7	41.9	25.0	28.6	42.1	27.8	
40. お年寄りを大切にす	34.5	23.1	35.1	21.9	35.0	23.8	25.0	42.1	21.4	34.6	29.7	56.7	40.0	28.6	36.8	26.3	28.6	23.1	35.1	45.2	20.0	28.6	47.4	44.4	
41. 親に孝行をする	62.1	48.0	45.9	34.4	65.0	42.9	40.0	47.4	14.3	34.6	27.0	48.4	36.8	14.3	42.1	16.7	35.7	23.1	24.3	29.0	25.0	19.0	42.1	38.9	
42. 先生を尊敬する	6.9	3.8	8.1	0	10.0	4.8	5.0	15.8	25.0	30.8	37.8	45.2	40.0	28.6	36.8	21.1	21.4	26.9	32.4	32.3	30.0	28.6	36.8	38.9	
43. 目上を大切にす	0	0	18.9	3.1	10.0	9.5	10.0	15.8	22.4	26.9	32.4	48.4	35.0	19.0	44.4	21.1	25.0	26.9	29.7	32.3	25.0	19.0	42.1	38.9	
44. 祖先を敬う	0	15.4	8.1	6.3	5.0	9.5	15.0	21.1	25.0	23.1	27.0	38.7	25.0	28.6	50.0	26.3	25.0	23.1	30.6	35.5	30.0	23.8	36.8	50.0	
45. 誰に対しても公正公平にふるまう	10.3	23.1	18.9	12.5	20.0	14.3	10.0	26.3	7.1	19.2	5.4	38.7	20.0	14.3	33.3	10.5	28.6	19.2	16.2	35.5	20.0	19.0	26.3	22.2	
46. 近所付き合いをする	10.3	0	10.8	0	15.0	4.8	15.0	15.8	3.6	8.0	5.4	19.4	20.0	4.8	22.2	11.1	7.1	19.2	13.2	25.8	5.0	14.3	15.8	16.7	
47. 権利を主張する	6.9	3.8	0	3.1	5.0	4.8	0	5.3	0	11.5	2.8	12.9	15.0	4.8	15.8	5.9	7.1	11.5	13.5	9.7	5.3	19.0	21.1	5.6	
48. 世界平和に貢献する	17.2	11.5	12.5	6.3	20.0	4.8	5.0	19.0	14.3	12.0	10.8	19.4	10.0	9.5	15.8	15.8	14.3	3.8	8.3	22.6	10.0	14.3	21.1	5.6	
49. 義務を果たす	24.1	26.9	24.3	28.1	25.0	38.1	15.0	31.6	14.8	26.9	21.6	32.3	30.0	19.0	42.1	10.5	40.7	30.8	29.7	32.3	25.0	23.8	31.6	11.1	
50. 恩に報いる	10.3	7.7	16.2	12.5	5.0	9.5	10.0	15.8	7.1	16.0	18.9	38.7	26.3	14.3	42.1	10.5	22.2	23.1	32.4	29.0	15.0	14.3	21.1	12.0	
51. 兄弟仲良くする	22.7	23.1	29.7	40.6	35.0	28.6	15.0	31.6	4.0	30.8	38.9	64.5	35.0	33.3	47.4	35.3	24.0	23.1	37.8	35.5	30.0	28.6	42.1	33.3	
52. 出世する	6.9	0	0	0	10.0	0	0	5.3	7.4	7.7	8.3	16.1	15.8	4.8	11.1	5.6	14.3	7.7	5.0	16.2	16.1	9.5	22.2	5.6	
53. 指導力がある	3.4	3.8	2.7	6.3	15.0	9.5	5.3	10.5	7.1	3.8	13.5	16.1	35.0	4.8	15.8	5.3	11.1	3.8	12.9	10.8	15.8	14.3	15.8	5.6	
54. 天皇を敬う	0	3.8	2.7	0	0	0	0	5.3	14.3	4.0	10.8	12.9	10.0	4.8	21.1	5.3	7.1	3.8	5.6	12.9	5.0	4.8	22.2	11.1	
55. 国を愛する	0	3.8	5.4	6.3	0	4.8	10.0	10.5	11.1	3.8	8.1	25.8	15.0	19.0	31.6	15.8	21.4	15.4	10.8	22.6	15.0	9.5	21.1	11.1	
56. 憲法を守る	0	7.7	5.4	9.4	5.0	9.5	5.0	15.8	11.1	11.5	16.2	22.6	26.3	4.8	21.1	15.8	21.4	23.1	16.2	19.4	25.0	14.3	21.1	16.7	
57. 国際的視野をもつ	24.1	23.1	16.2	15.6	25.0	14.3	15.0	21.1	14.8	15.4	22.2	22.6	15.0	9.5	42.1	15.8	17.9	19.2	24.3	25.8	20.0	23.8	31.6	16.1	

表5の1 価値観調査表の結果

非常に重視すべ比率の高い上位項目(10位まで)

単位：%

本人の現在の価値観																							
S		M S		S M		S F		F S		O S		I S		Y S									
1	思いやりがある	72.4	1	健康・安全に気をつける	73.1	1	自分の事を自分でする	77.4	1	健康・安全に気をつける	81.3	1	健康・安全に気をつける	80.0	1	健康・安全に気をつける	76.2	1	健康・安全に気をつける	75.0	1	健康・安全に気をつける	78.9
	約束を守る	"	2	自分の事を自分でする	65.4	2	健康・安全に気をつける	64.9	2	自分の事を自分でする	67.6	2	自分の事を自分でする	75.0	2	思いやりがある	71.4	2	自分の事を自分でする	60.0	2	自分の事を自分でする	73.7
3	健康・安全に気をつける	62.1		やる気がある	"	3	約束を守る	62.2	3	体をきたえる	59.4		友人を大切に	"	3	自分の事を自分でする	66.7		体をきたえる	"		意志が強く努力する	"
	親に孝行する	"	4	誠実である	61.5		友人を大切に	"		友人を大切に	"	4	ものを大切に	70.0	4	親切である	61.9	4	誠実である	55.5	4	友人を大切に	68.4
	友人を大切に	58.6		思いやりがある	"	5	思いやりがある	59.5	5	約束を守る	56.3	5	思いやりがある	65.7		約束を守る	"		思いやりがある	"	5	勇気がある	63.2
	自分の事は自分で	55.2	6	意志が強く努力する	57.7	6	責任感が強い	51.4	6	やる気がある	53.1	6	責任感が強い	65.0	6	正直である	57.1		友人を大切に	"		体をきたえる	"
	正直である	"		約束を守る	"	7	正直である	48.6	7	忍耐強い	50.0		親に孝行をする	"		やる気がある	"	7	正直である	50.0	7	ものを大切に	57.9
8	やる気がある	51.7		友人を大切に	"	8	誠実である	45.9		意志が強く努力する	"	8	のびのびしている	60.0		責任感が強い	"		約束を守る	"		忍耐強い	"
	誠実である	"	9	ものを大切に	53.8		親切である	"		責任感が強い	"		やる気がある	"		友人を大切に	"	9	意志が強く努力する	47.4		やる気がある	"
	責任感が強い	"		責任感が強い	"		親に孝行をする	"	8	ものを大切に	43.8		誠実である	"	10	自信をもって行動する	52.4	10	のびのびしている	40.0		約束を守る	"
							誠実である	"		明るくユーモアがある	"		礼儀正しい	"		ひろく人や生き物を愛する	"		自信をもって行動する	"		自信をもって行動する	"
							思いやりがある	"											親に孝行する	"			
母親の養育の価値観																							
S		M S		S M		S F		F S		O S		I S		Y S									
1	健康・安全に気をつける	57.1	1	自分の事を自分でする	53.8	1	正直である	48.6	1	自分の事を自分でする	55.0	1	約束を守る	52.4	1	健康・安全に気をつける	84.2	1	正直である	47.4			
2	ものを大切に	50.0		健康・安全に気をつける	"	2	親切である	45.9	2	体をきたえる	52.6	2	自分の事を自分でする	47.6	2	祖先を敬う	50.0		誠実である	"			
3	約束を守る	44.9	3	正直である	50.0		思いやりがある	"		約束を守る	"		健康・安全に気をつける	"	3	正直である	42.9	3	忍耐強い	47.4		責任感が強い	"
4	正直である	42.9		やる気がある	"		約束を守る	"		兄弟仲良く	"	4	親切である	47.4		責任感が強い	"		正直である	"	4	約束を守る	42.1
5	自分の事は自分で	39.5	5	ものを大切に	46.2	5	ものを大切に	43.2	5	責任感が強い	61.3	5	勉強に励む	45.0	5	ものを大切に	40.0		意志が強く努力する	"	5	ものを大切に	36.8
6	やる気がある	35.7		自信をもって行動	"		健康・安全に気をつける	"	6	自分の事を自分でする	58.1		規律正しい	"	6	むだ使いをしない	33.3		責任感が強い	"		体をきたえる	"
	思いやりがある	"		規律正しい	"		責任感が強い	"		やる気がある	"		自分を大切に	"		体をきたえる	"		友人を大切に	"		健康・安全に気をつける	"
8	責任感が強い	33.3	8	体をきたえる	42.3		友人を大切に	"		意志が強く努力する	"	8	規則正しい	42.1		健康・安全に気をつける	"		兄弟仲良く	"		自分を大切に	"
9	むだ使いをしない	32.1		忍耐強い	"	9	勉強に励む	40.5		親切である	"		約束を守る	"		のびのびしている	"	9	謙虚である	44.4		正義感が強い	"

表5の2 価値観調査表の結果

非常に重視する比率の高い上位項目（10位まで）

単位：%

母 親 の 養 育 の 価 値 観																								
S		M S		S M		S F		F S		O S		I S・		Y S										
9	自信をもって行動する	32.1	8	約束を守る	42.3	9	体をきたえる	38.9	10	お年寄りを大切に する	56.7	10	ものを大切にする	40.0	6	やる気がある	33.3	9	目を大切に する	44.4	10	兄弟仲良く する	35.3	
	規律正しい	#								正直である	#		誠実である	#										
	意志が強く努力する	#								志をたてる	#		礼儀正しい	#										
										ひろく人や生き物を愛する	#		兄弟仲良くする	#										
										お年寄りを大切に する	#													
										先生を尊敬する	#													
父 親 の 養 育 の 価 値 観																								
S		M S		S M		S F		F S		O S		I S		Y S										
1	健康・安全に気をつける	60.7	1	自分の事を自分で する	42.3	1	正直である	48.6	1	自分の事を自分で する	58.1	1	健康・安全に気をつける	52.4	1	正直である	52.6	1	意志が強く努力する	55.6				
2	正直である	57.1	2	健康・安全に気をつける	38.5	2	勉強に励む	43.2		誠実である	#	2	健康・安全に気をつける	50.0		仕事に励む	#	2	お年寄りを大切に する	47.4	2	祖先を敬う	54.0	
3	自分の事は自分で する	50.0		誠実である	#	3	規律正しい	40.5	3	約束を守る	51.6		約束を守る	#	3	約束を守る	47.6	3	教養が豊かである	42.1	3	約束を守る	44.4	
	責任感が強い	#	4	規律正しい	34.6	4	誠実である	37.8	4	ものを大切にする	48.4	4	正直である	45.0		自信をもつて行動する	#		健康・安全に気をつける	#		お年寄りを大切に する	#	
	約束を守る	#		責任感が強い	#		親切である	#		むだ使いをしない	#		体をきたえる	#		やる気がある	#		友人を大切に する	#		自信をもつて行動 する	#	
6	体をきたえる	46.4		正直である	#		思いやりがある	#		健康・安全に気をつける	#	6	ものを大切にする	40.0		責任感が強い	#		親に孝行する	#		のびのびしている	#	
	むだ使いをしない	#	7	ものを大切にする	30.8		責任感が強い	#		正直である	#		誠実である	#	7	のびのびしている	42.9		目を大切に する	#	7	規律正しい	36.9	
8	義務を果たす	40.7		自分を大切に する	#		礼儀正しい	#		意志が強く努力する	#		意志が強く努力する	#		正直である	#		兄弟仲良く する	#		親に孝行する	#	
9	ものを大切にする	39.3		やる気がある	#		規則正しい	#		親切である	#		責任感が強い	#		規律正しい	#		ものを大切に する	#		先生を尊敬する	#	
	礼儀正しい	#		意志が強く努力する	#		兄弟仲良くする	#	10	責任感が強い	45.2	10	勉強に励む	35.0		義理人情にあつい	#	10	のびのびしている	36.8		目を大切に する	#	
				義務を果たす	#					礼儀正しい	#		仕事に励む	#					自分を大切に する	#		正直である	#	
				体をきたえる	#					お年寄りを大切に する	#		のびのびしている	#					意志が強く努力する	#		忍耐強い	#	
										のびのびしている	#		自信をもつて行動する	#					礼儀正しい	#		健康・安全に気をつける	#	
										忍耐強い	#		やる気がある	#					約束を守る	#				
																			先生を尊敬する	#				

表6 価値観調査の結果（非常に重視するものの割合別項目数）

出生順位	S	MS	SM	SF	FS	OS	IS	YS
本人の55%以上	7	8	5	5	17	9	6	11
母親の45%以上	2	7	4	24	7	2	8	3
父親の45%以上	7	0	1	14	5	6	2	2

のようになる。

- ・1人っ子（S）は、やや神経質で、社会的指導性に欠ける。
- ・兄のいる妹（MS）は、抑うつ性が低く、気分の変化が極めて小さい。神経質でなく、適度に客観的で、協動的であり、活動性もある。
- ・弟のいる姉（SM）は、神経質でなく、適度に客観的協動的で、社会的指導性もある。
- ・妹のいる姉（SF）は、劣等感が小さく、協調性もあるが、のんきさに欠ける。
- ・姉のいる妹（FS）は、劣等感が小さく、客観的である。
- ・3人きょうだいの長子（OS）は、気分の変化がやや大きい、のんきで、社会的指導性に富む。
- ・3人きょうだいの中間子（IS）は、抑うつ性大で劣等感が強く、神経質で、消極的である。
- ・3人きょうだいの末っ子（YS）は、抑うつ性大で劣等感がやや強く、主観的である。

以上の傾向からみると、出生順位と人格特性に関する研究については、（1人っ子+長子）対（次子以下）という2分法は妥当性を欠くことがわかる。また、同じ2人きょうだいでも、出生順位と性別の組み合わせによって家族内力学の影響の受け方が大いに異なり、人格特性の傾向も異ってくることから、今後の研究にあたっては、性別を組み合わせた出生順位のカテゴリー分類が必要であろう。

2) 価値観調査表

表6の結果から、次の点の傾向が指摘されよう。

- ① SFについては両親の関心度が極めて高く逆にFSについては本人の自己関心度が高い。
- ② S, OSについては父親の関心度が高い。

③ MS, ISについては母親の関心度が高い。

④ SM, YSについては両親の総合的関心度が低い。

⑤ MS, FSについては上位2項目に関して両親と一致する。

SFについては、2人姉妹の長子に両親の関心度が高くなるのは当然としても、過度になると本人を畏縮させる可能性もある。この点YG性格検査ののんきさに欠ける面に現われているとも考えられる。FSについては、自己関心度が強く、自立性に富むとも考えられるが、同時に両親の総合的関心度も高く、⑤にあるように上位項目に関して、MSと共に両親と一致していることも見逃がせない。

S, OSは、SFと異なる意味の1人っ子、長子であり、父親のプレッシャーがかなり強いと考えられる。しかし、その内容は必ずしも一致せず、OSには「仕事に励む」、「自信をもって行動する」、「やる気がある」など、より自立をうながす傾向がみられる。

MS, ISに母親の関心度が高いのは、父親のS, OSへの関心度の逆であるとしても、MSとISはYG性格検査の結果がかなり異なる。この点をいかに説明したらよいのであろうか。同様のことは④のSM, YSについてもいえる。すなわち、MS, SMとIS, YSは本調査における性格調査の結果が最も対照的に現われているグループである。好ましくない性格群とされるB類, E類の和は、MS=20%, SM=33%に対して、IS=63%, YS=62%である。

この点について、表5の順位表をみてみよう。そうすると、MS, SMについては、本人の上位10項目が、母親父親の上位10項目とより多く一致していることに気がつく。そこで、本人の第10位までに入る項目のうち、母親、

父親双方の第10位までに入っていない項目をひろってみると次のようになる。

MS : 「思いやりがある」 「友人を大切にする」

SM : 「自分の事を自分でする」 「親に孝行をする」

IS : 「自分の事を自分でする」 「体をきたえる」 「誠実である」 「思いやりがある」 「ひろく人や生き物を愛する」

YS : 「自分の事を自分でする」 「友人を大切にする」 「勇気がある」 「やる気がある」

項目数からみても IS, YS の場合、両親との価値観のくい違いがわかるが、IS の 5 項目のうち、4 項目はすべて 4 位以内であり、YS の 4 項目のうち、3 項目はすべて 5 位以内である。この事は、本人と両親の価値観のずれが、何らかのかたちで、IS, YS の性格特性に影響を与えている可能性を示唆する。

ま と め

本研究は、出生順位という変数が、家族内力学との相互的關係を通じ、人格特性にどのように影響するかを明らかにしようとするものであるが、そのではじめとして、ここでは、家族内力学の一局面としての両親の養育にあたっての価値観尺度を用いることが試みられた。

出生順位変数の問題点が指摘され、ここで用いられた

8 カテゴリーについては、性格特性にかなり相違があることが明らかになった。その特性の同定については今後さらに類似の資料に基づいて研究が重ねられる必要がある。ただ、一時期、「1人っ子」、「1人っ子」と騒がれた程、1人っ子だけが問題なのではないといえそうである。

ここでの資料の範囲内では、3人きょうだいの中間子と末っ子について、両親の価値観との間のずれが大きく、それが性格特性に影響を及ぼしている可能性が示唆されるが、この点、今後の研究の過程で検討されていかねばならない。

文 献

- 1) Bradley, R. W. : Birth order and school-related behavior : A heuristic review, Psychol. Bull., 70, p. 45—51, 1968.
- 2) 山本吉広 : 子どもの出生順位による親子関係と人格形成——親子関係尺度 EICA と YG 性格検査を用いて——関西大学社会学部紀要, 第 8 巻 1 号, p. 103—120, 1977.
- 3) 橋口英俊, 三角同, 保延成子, 福田啓子, 鈴木征男 : 現代日本人の価値意識に関する研究, 東京家政大学研究紀要第 21 集(1), p. 55—67, 1981.